

【奨励賞】

Go To Invest ～誰もが気軽に投資へ～

愛知大学 経済学部	野口 稜斗
〃	柴田 祐希
〃	長野 拓実
〃	新美 敦也
〃	増田 和輝

（要旨）

日本は預貯金大国と呼ばれるほど、家計が金融資産の多くを現金・預金で保有しており、運用資産の割合は諸外国と比べて圧倒的に低い。日本では義務教育期間に投資などの金融について学ぶ機会がほぼ無く、高校でも実践的な学びの機会が無いため、投資に対する知識が無いまま社会に出る人が多いことが一因である。

本論文ではこの問題に対して Go To Invest の導入を提案する。これは政府の施策である Go To キャンペーンをヒントにして考えた、スマートフォンの無料アプリケーション（以下、アプリ）である。将来の日本を支えていく若者世代を対象に、投資準備編と投資実践編を通じて気軽に楽しく株式投資を学習・体験出来る仕組みであり、政府と企業が一体となってこのアプリを進めていく。

本提案の実現により、人々の投資に対する悲観的な考え方を変えることが出来る。そして将来、このアプリの利用者が投資に積極的に取り組み、資産を形成していくことが期待できる。